

## 女性つながりサポート事業【新潟市】

|      |          |
|------|----------|
| 総事業費 | 3,824 千円 |
| 交付金額 | 2,868 千円 |

## 地域の実情と課題

- ・新潟市独自のデータはないが、労働力調査によれば、全国の新規雇用者数はここ数年増加傾向で推移していたが、2020年に対前年比で減少し、2021年もさらに減少。2022年で増加に転じたが、いまだ2019年の数字には遠く及ばない状況。2019年の状況と比較すると、女性の減少数は男性の約2倍にあたるなど、働く女性を取り巻く雇用環境は大変厳しく、本市も同様な傾向になるものと推測される。
- ・新潟市の女性の自殺者数は2019年から4年連続で約1割ずつ増加。
- ・望まない孤独・孤立で不安を抱える女性が社会との絆やつながりを回復することができるよう、きめの細かい寄り添った相談支援を充実させることが課題である。

## 事業の特徴

- NPO等へ委託
  - ①臨床心理士による出張専門相談会
  - ②フードバンクの食料支援を通じたアウトリーチ型相談
  - ③イベント開催をきっかけとした相談支援
  - ④女性の居場所づくり
- 直営事業
  - ①連携会議②相談機関の相談員向け研修会③相談カード作成

## 目的・目標

- ・臨床心理士による出張相談、イベントでの相談支援、アウトリーチ型相談支援、女性の居場所づくりなど寄り添った支援を行う。
- ・相談関係機関のネットワークを強化する。

## 連携団体

- ・企業組合労協センター事業団
- ・フードバンクにいがた
- ・一般財団法人新潟市母子福祉連合会
- ・特定非営利活動法人 女のスペース・にいがた
- ・新潟県弁護士会
- ・新潟市社会福祉協議会 など

## 今後の課題

- 支援が届いていない女性の効果的な掘り起こし
- 相談者のニーズに沿った支援の提供方法
- 関係機関が継続的に連携していけるような体制づくり

## 事業の効果

- 女性向けのイベントでは、来場者の中から、支援が行き届いていない女性を掘り起こし、相談につなげることができ、ここで連携会議に参加する団体同士が効果的に連携し、相談者に多様なニーズに沿った相談や助言を行うことができた。
- 女性の居場所づくりにおいては、孤立、不安を抱えた女性同士が支えあう「ピアサポート」的な関係を形成することができた。

## 事業の概要

### 1. 専門相談(企業組合労協センター事業団)

- ・臨床心理士による出張専門相談会  
月1回、全9回 開催  
相談件数 のべ28人(うちオンライン参加 7人)  
相談内容・・自身の体調や健康、家族関係、就労など



### 2. アウトリーチ型相談(フードバンクにいがた)

- ・フードパントリー相談所 全4回 (各区)で開催  
相談件数 のべ14人  
相談内容・・生活費や子どもの養育費、ひとり暮らしの不安など

### 3. イベント開催をきっかけとした相談支援 (一般財団法人新潟市母子福祉連合会)

- ・交流イベントの開催  
10月21日 新潟市天寿園  
来場者数475人 相談者数32人  
8団体の相談ブースを設置  
相談内容・・こども、生活・収入、仕事など



### 4. 女性の居場所づくり

(特定非営利活動法人 女のスペース・にいがた)

- ・健康太極拳 月1回(年11回)開催 のべ101人参加
- ・木書の会(小筆習字) 月1回(年11回)開催 のべ71人参加
- ・リーディングの森(読書会) 月1回(年10回)開催 のべ51人参加

### 5. 直営事業

#### ①連携会議の開催 (10月12日)

#### ②相談機関の相談員向け研修会の開催 (1月25日) 「困難を抱える女性の現状や面接時留意点について」 (講師:公認心理師・臨床心理士)

#### ③相談窓口カード作成 6,500部

- ・関連団体や公共施設、商業施設に設置